

▼レグテクト錠 [内]

【重要度】★★【透析患者に投与禁忌】 【一般製剤名】アカンプロサートカルシウム acamprostate calcium 【分類】アルコール依存症治療剤 [断酒薬]

【単位】▼333mg/錠

【常用量】1回666mgを1日3回 [原則24週間]

【用法】1日3回、必ず食後 [空腹時投与では血中濃度が上昇し、安全性が確認されていない]

【透析患者への投与方法】禁忌 (1)

【保存期CKD患者への投与方法】軽度～中等度腎障害：減量を考慮して慎重投与、高度の腎障害：排泄遅延により高い血中濃度が持続するおそれがあるため禁忌 (1)

【その他の報告】排泄が障害されるため避ける (Saivin S, et al: Clin Pharmacokinetics 35: 331-45, 1998 PMID: 9839087)

【特徴】アルコール依存により亢進したグルタミン酸作動性神経活動を抑制し、飲酒に対する欲求を抑制する。ホモタウリンの誘導体でGABAと構造上の類似性がありGABA受容体に対する結合活性を有し、アルコール依存で亢進したグルタミン酸作動性神経活動を抑制すると考えられている。嫌酒薬と異なり、断酒の意志があり、離脱症状に対する治療の後に心理社会的治療を行うアルコール依存症患者に対して断酒維持効果を高める作用を有する。

【主な副作用・毒性】アナフィラキシー、血管浮腫、不安、頭痛、湿疹、浮腫、下痢、傾眠、腹部膨満、嘔吐など。因果関係は明かでないが、自殺念慮、自殺企図が報告されている。

【吸収】食事により吸収率低下 (1, Saivin S, et al: Clin Pharmacokinetics 35: 331-45, 1998 PMID: 9839087)

【F】11% (1)

【tmax】4～6hr [腸溶性錠] (1)

【代謝】代謝されない (1)

【排泄】代謝を受けずに尿中に排泄される (1) 尿中排泄と胆汁排泄がおおよそ50%ずつ (Saivin S, et al: Clin Pharmacokinetics 35: 331-45, 1998 PMID: 9839087)

【CL】CL/F=2981mL/min [po], CL=263mL/min [iv] (1) CL/Fは健常人：184.00L/hr, Ccr 30～60mL/min：66.50L/hr, Ccr 30mL/min未満：15.83L/hr (1)

【t1/2】15～20hr (1)

【蛋白結合率】1%以下 (1) 結合しない (Saivin S, et al: Clin Pharmacokinetics 35: 331-45, 1998 PMID: 9839087)

【Vd】72～109 L/man [iv] (1)

【MW】400.48

【透析性】資料なし (1) 除去されやすいと思われる (5)

【O/W係数】水相に分配 (1) 【pKa】3.6 【TDMのポイント】効果と血中濃度の関係は明確でない (1)

【備考】上部消化管障害を軽減するため腸溶性フィルムコーティング錠となっている。

【更新日】20190205

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。